

Press Release

2016年8月8日

報道関係各位



CEホールディングス



株式会社シーエスアイ

医療データのネットワーク化と利活用を推進する メディカル・データ・ビジョン株式会社と協業

～両社のシステム連携により、医療機関と患者が診療情報の一部を共有できる仕組みを
実現するとともに、両社の事業拡大を目指す～

株式会社CEホールディングス（東証一部、以下 CEHD）で、電子カルテシステムの開発・販売を行う株式会社シーエスアイ（代表取締役社長：杉本恵昭、本社：札幌市白石区、以下 CSI）は、医療データのネットワーク化と利活用を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社（東証マザーズ 本社：東京都千代田区 代表取締役社長：岩崎 博之 以下、MDV）と協業し、両社で医療機関の患者サービス向上を支援すると共に、両社の事業拡大を目指すこととなりましたので、お知らせいたします。

【協業の内容と目的】

CSIは、電子カルテメーカーとして医療機関と共に歩んできた経験をもとに、常に付加価値の高いサービスを提供し、医療機関の様々な課題の解決と患者サービスの向上に取り組んでいます。

また、MDVは従来から、より一層の医療の質向上、患者メリット創出を目的として、医療データのネットワーク化と利活用を推進しています。

このような状況下、CSIとMDVは以下を主な内容とする協業を行うこととなりました。

- CSIの電子カルテ「MI・RA・Isシリーズ」と、MDVの患者向けWEBサービス「カルテコ」などの仕組みを含む「CADA-BOX（仮称）」を連携させることで、診療情報の活用に同意した患者の情報をMDVのデータベースにリアルタイムに蓄積するとともに

に、患者がその情報の一部（傷病名、検査結果、診療中に使われた薬（投薬）、処置・手術、処方された薬、など）を「カルテコ」で閲覧できる（無償）ようにする。

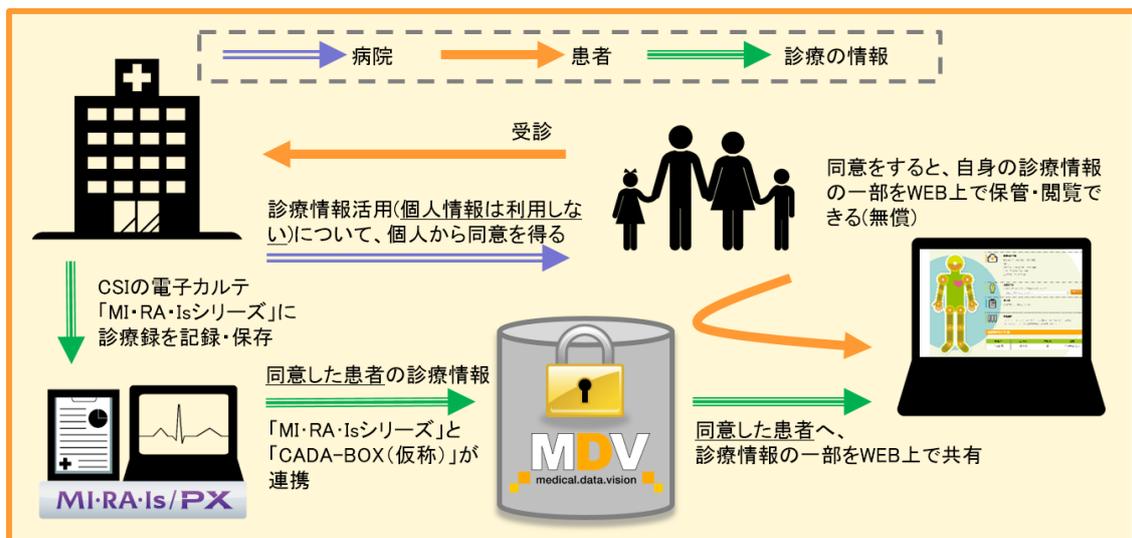
- 両社の顧客基盤やノウハウを生かしながら、営業連携（「MI・RA・Is シリーズ」および「CADA-BOX（仮称）」の販売）を行う。

診療情報の一部を医療機関と患者がインターネットを通じて「カルテコ」で共有することによって、患者の医療機関に対する信頼感がより強固なものとなる、患者が積極的に治療参加する、離れて暮らす患者の親族（患者のお子さんなど）が患者の健康状態を確認し安心できる、といった効果が期待されます。

また、CSIの「MI・RA・Is シリーズ」は、患者がWeb上で診療情報の一部を確認できる電子カルテとして他社製品との大きな差別化が期待でき、MDVは蓄積する診療データのリアルタイム性と多様性の向上が可能となります。

なお、「MI・RA・Is シリーズ」と連携する「CADA-BOX（仮称）」の本格的な提供は、本年秋以降を予定しています。

【スキーム図】



【株式会社シーエスアイ 会社概要】

〒003-0029 札幌市白石区平和通 15 丁目北 1 番 21 号

代表取締役社長 杉本 恵昭

事業内容：電子カルテシステムの開発・販売

Web サイト：<http://www.csiinc.co.jp>

【メディカル・データ・ビジョン株式会社 会社概要】

〒060-0002 東京都千代田区神田美土代町 7 番地 住友不動産神田ビル 10 階

代表取締役社長 岩崎 博之

事業内容：医療情報統合システムの開発・販売、医療データの分析・調査

Web サイト：<https://www.mdv.co.jp/>

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 C E ホールディングス 経営企画室

TEL：(011)861-1600

E メール：k-kikaku@ce-hd.co.jp